

DB
02090
2004



筑波大学博士（文学）学位請求論文

海獣狩猟文化における動物飼養の研究

—続縄文・オホーツク両文化に見るその変遷と意義—

内山 幸子

寄贈
内山幸子氏

05009416

本文目次

序章	海獣狩猟文化における動物飼養研究の意義	1
第1章	対象資料と研究方法について	9
第1節	対象資料と研究の手順	9
第2節	動物の骨格	10
第3節	編年	12
第2章	家畜化の定義と動物飼養の多様性	16
第1節	家畜化の定義	16
第2節	飼養動物の名称	18
第3節	飼養動物の利用	19
第4節	人間側の介入による動物側の変化	20
(1)	形態変化	
(2)	生態変化	
(3)	性質変化	
第5節	家畜化の傍証となる考古資料	22
第6節	人間と動物との相互関係に見る多様性	24
第3章	イヌ利用について	29
第1節	イヌについて	29
第2節	出土資料	31
(1)	遺存体	
(2)	骨製品・歯牙製品	
(3)	イヌを模った遺物	
第3節	形質的特徴の時期的変遷と地域差	50
(1)	各時代におけるイヌの形質的特徴	
(2)	頭蓋骨の計測値に基づいた検討	
第4節	利用内容の時期的変遷と地域差	58
(1)	利用内容の画期と周辺文化との関わり	
(2)	利用内容の展開	
(3)	装飾上腕骨や特異な出土事例に見る周辺文化との関わり	
第4章	イノシシ類利用について	88
第1節	イノシシ類について	88
第2節	出土資料	90
(1)	遺存体	
(2)	骨製品・歯牙製品	
(3)	イノシシ類を模った遺物	
第3節	縄文時代、続縄文時代におけるイノシシ類利用	113
(1)	利用内容の時期的変遷と地域差	
(2)	地域差に見る本州との関わり	
(3)	飼養の有無	
第4節	オホーツク文化期におけるイノシシ類利用	116
(1)	イノシシ類の系統	
(2)	利用内容の時期的変遷と地域差	
(3)	周辺文化との関わり	

第5章 トナカイ利用について	122
第1節 トナカイについて	122
第2節 出土資料	125
(1) 遺存体	
(2) 角製品	
(3) トナカイを模った遺物	
第3節 利用の程度	133
第4節 角製品に見るオホーツク文化内での地域間関係と地域差	134
第6章 ヒグマ利用について	137
第1節 ヒグマについて	137
第2節 出土資料	138
(1) 遺存体	
(2) 骨製品・歯牙製品	
(3) ヒグマを模った遺物	
第3節 利用内容の時期的変遷と地域差	178
(1) 利用内容に見る画期と地域差	
(2) オホーツク文化期におけるヒグマ飼養の有無	
(3) 住居内のヒグマ集積事例に見る周辺文化との関わり	
終章 海獣狩猟文化における動物飼養の意義	186
第1節 イヌ飼養に見る文化背景とその価値	188
第2節 イノシシ類飼養に見る文化背景とその価値	191
第3節 動物飼養の地域的偏在	193
第4節 大陸系遺物の出土傾向に見るオホーツク文化の地域差	196
第5節 飼養動物の種類と利用内容に見るオホーツク文化の特質	202
引用文献一覧	208
図表出典一覧	232

図版目次

図 1	北東アジア沿岸の海獣狩猟文化	2
図 2	香深井 1 遺跡における生業カレンダー	5
図 3	オホーツク文化の生業カレンダー	5
図 4	イヌの全身骨格 (雄)	11
図 5	イヌの頭部	11
図 6	ローマ帝国時代の Tác 村におけるイヌ脛骨の多様性	21
図 7	ブタの改良目標を示すポスター	21
図 8	短頭化現象	21
図 9	下顎第 3 後臼歯の大きさ変化	21
図 10	イヌの遺存体とそれを素材とした製品の分布(1) 縄文時代	33
図 11	イヌの遺存体とそれを素材とした製品の分布(2) 続縄文時代	35
図 12	犬骨出土状況(1) 種屯内遺跡	38
図 13	犬骨出土状況(2) 浜中 2 遺跡	38
図 14	犬骨出土状況(3) ザーパトナヤ 10 遺跡	38
図 15	イヌの遺存体とそれを素材とした製品の分布(3) オホーツク文化期	41
図 16	犬骨出土状況(4) 浜中 2 遺跡	42
図 17	犬骨出土状況(5) 香深井 1 遺跡	42
図 18	犬骨出土状況(6) 浜中 2 遺跡	42
図 19	傷のあるイヌの下顎骨 (東多来加貝塚)	45
図 20	埋葬犬 (プロムイスロヴォエ 2 遺跡)	45
図 21	イヌの遺存体を素材とした製品 (オホーツク文化期)	48
図 22	イヌの頭蓋骨の計測値を用いた多変量解析結果	52
図 23	オホーツク犬 A 型	54
図 24	オホーツク犬 B 型	55
図 25	頭蓋骨の計測値に基づく形質的特徴の時代的傾向	57
図 26	頭蓋骨の計測値を用いた遺跡	82
図 27	イヌの遺存体を多量に出土する遺跡 (続縄文時代とその併行期)	60
図 28	イヌの遺存体に観察された傷(1) 続縄文時代	62
図 29	イヌの遺存体に観察された傷(2) 続縄文時代	63
図 30	イヌの遺存体に観察された傷(3) 続縄文時代	64
図 31	イヌの遺存体に観察された傷(4) ザーパトナヤ 10 タイプ土器期	64
図 32	傷や民族例に基づいて推測されたイヌの解体方法 (続縄文時代)	66
図 33	イヌの遺存体に観察された傷(5) オホーツク文化期	71
図 34	イヌの遺存体に観察された傷(6) オホーツク文化期	72
図 35	イヌの遺存体に観察された傷(7) オホーツク文化期	73

図 36	オホーツク文化とその周辺文化の装飾肢骨	77
図 37	海上猟の様子を表現した線刻（オホーツク文化期）	78
図 38	イノシシ類の遺存体とそれを素材とした製品の分布(1) 縄文時代	94
図 39	イノシシ類の遺存体とそれを素材とした製品の分布(2) 続縄文時代	96
図 40	イノシシ類の遺存体とそれを素材とした製品の分布(3) オホーツク文化期	100
図 41	イノシシ類の歯牙製品(1) 縄文・続縄文時代	105
図 42	イノシシ類の歯牙製品(2) 縄文・続縄文時代	106
図 43	イノシシ歯牙製品の時代的変遷（縄文・続縄文時代）	108
図 44	イノシシ類の遺存体を素材とした製品（オホーツク文化期）	111
図 45	イノシシ類の出土内容別分布（縄文・続縄文時代）	114
図 46	騎乗用トナカイを刺繍したウィルタのラッグ	124
図 47	トナカイの遺存体とそれを素材とした製品の分布（オホーツク文化期）	127
図 48	トナカイもしくはその可能性のあるシカ科の角製品(1) オホーツク文化期	129
図 49	角を切り出されたトナカイの頭蓋骨と角製未製品 (ザーパトナヤ 10 タイプ土器期)	129
図 50	トナカイもしくはその可能性のあるシカ科の角製品(2) オホーツク文化期	130
図 51	トナカイもしくはその可能性のあるシカ科の角製品(3) オホーツク文化期	131
図 52	トナカイもしくはその可能性のあるシカ科の角製品(4) オホーツク文化期	132
図 53	骨製燧具	135
図 54	ヒグマの遺存体とそれを素材とした製品の分布(1) 縄文時代	142
図 55	ヒグマの遺存体とそれを素材とした製品の分布(2) 続縄文時代	144
図 56	ヒグマの遺存体とそれを素材とした製品の分布(3) オホーツク文化期	148
図 57	ヒグマの遺存体を素材とした製品(1) 縄文時代	152
図 58	ヒグマの遺存体を素材とした製品(2) オホーツク文化期	154
図 59	ヒグマの遺存体を素材とした製品(3) オホーツク文化期	155
図 60	動物意匠遺物(1) 縄文・続縄文時代	161
図 61	動物意匠遺物(2) 縄文・続縄文時代	162
図 62	動物意匠遺物(3) 縄文・続縄文時代	163
図 63	動物意匠遺物(4) 縄文・続縄文時代	164
図 64	動物意匠遺物の分布(1) 縄文・続縄文時代	165
図 65	動物意匠遺物(5) オホーツク文化期	171
図 66	動物意匠遺物(6) オホーツク文化期	172
図 67	動物意匠遺物(7) オホーツク文化期	173
図 68	動物意匠遺物(8) オホーツク文化期	174
図 69	動物意匠遺物の分布(2) オホーツク文化期	175
図 70	大陸系遺物(1) 装身具	197
図 71	大陸系遺物(2) 武具	198
図 72	大陸系遺物(3) 生活用具	199
図 73	大陸系文物の模倣品	201

表目次

表 1	本研究で用いる編年表	15
表 2	動物の利用内容（主要なもの）	20
表 3	人間と動物との相互関係	25
表 4	イヌの遺存体と製品の出土遺跡一覧(1) 縄文・続縄文時代	32
表 5	イヌの遺存体と製品の出土遺跡一覧(2) ザーパトナヤ 10 タイプ土器期	39
表 6	イヌの遺存体と製品の出土遺跡一覧(3) オホーツク文化期	40
表 7	イヌの遺存体を素材とした製品	47
表 8	オホーツク文化期に属するイヌの型分類	53
表 9	頭蓋骨の計測値(1)	83
表 10	頭蓋骨の計測値(2)	84
表 11	頭蓋骨の計測値(3)	85
表 12	頭蓋骨の計測値(4)	86
表 13	頭蓋骨の計測値(5)	87
表 14	イヌの遺存体に観察された傷(1) 続縄文時代	61
表 15	イヌの遺存体に観察された傷(2) ザーパトナヤ 10 タイプ土器期	61
表 16	イヌの遺存体に観察された傷(3) オホーツク文化期	69
表 17	イヌの遺存体に観察された傷(4) オホーツク文化期	70
表 18	オホーツク文化とその周辺文化における装飾肢骨	78
表 19	イノシシ類の遺存体と製品の出土遺跡一覧(1) 縄文・続縄文時代	92
表 20	イノシシ類の遺存体と製品の出土遺跡一覧(2) 縄文・続縄文時代	93
表 21	イノシシ類の遺存体と製品の出土遺跡一覧(3) ザーパトナヤ 10 タイプ土器期	99
表 22	イノシシ類の遺存体と製品の出土遺跡一覧(4) オホーツク文化期	99
表 23	イノシシ類の遺存体を素材とした製品(1) 縄文・続縄文時代	104
表 24	イノシシ類の歯牙を素材とする製品の分類	107
表 25	イノシシ類の遺存体を素材とした製品(2) オホーツク文化期	110
表 26	トナカイにおける枝角の成長サイクル	124
表 27	トナカイの遺存体と製品の出土遺跡一覧(1) ザーパトナヤ 10 タイプ土器期	126
表 28	トナカイの遺存体と製品の出土遺跡一覧(2) オホーツク文化期	126
表 29	ヒグマの遺存体と製品の出土遺跡一覧(1) 縄文・続縄文時代	141
表 30	ヒグマの遺存体と製品の出土遺跡一覧(2) オホーツク文化期	147
表 31	ヒグマの遺存体を素材とする製品の分類	150
表 32	ヒグマの遺存体を素材とした製品の時期的変遷	150
表 33	ヒグマの遺存体を素材とした製品	151
表 34	動物意匠遺物の分類	157
表 35	イヌ、イノシシ類、シカ類、ヒグマを模った製品(1) 縄文・続縄文時代	159
表 36	イヌ、イノシシ類、シカ類、ヒグマを模った製品(2) 縄文・続縄文時代	160

表 37	イヌ、イノシシ類、シカ類、ヒグマを模った製品(3)	オホーツク文化期	168
表 38	イヌ、イノシシ類、シカ類、ヒグマを模った製品(4)	オホーツク文化期	169
表 39	イヌ、イノシシ類、シカ類、ヒグマを模った製品(5)	オホーツク文化期	170
表 40	イヌ、イノシシ類、シカ類、ヒグマを模った製品(6)	時期不明	170
表 41	ヒグマを模った遺物の時期的変遷		177
表 42	出土内容からみるヒグマの価値		180
表 43	香深井1遺跡におけるヒグマの部位別出土量		182
表 44	イヌ、イノシシ類、トナカイ、ヒグマの利用内容の変遷		187
表 45	オホーツク文化における地域ごとの生業の特徴		194
表 46	各文化要素にみるオホーツク文化の地域差		202